

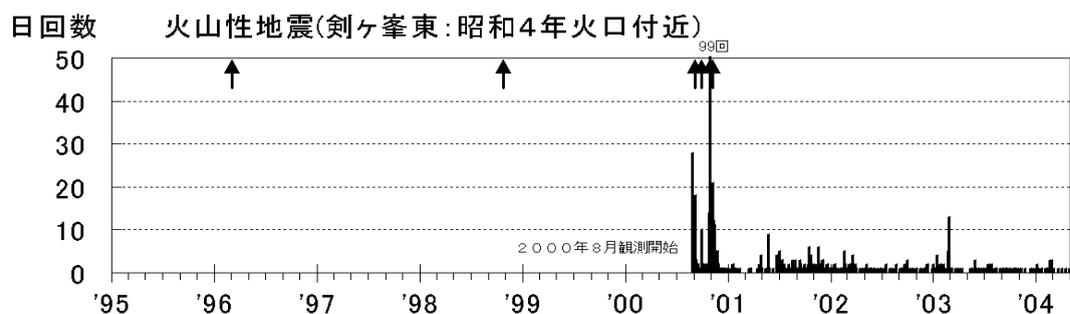
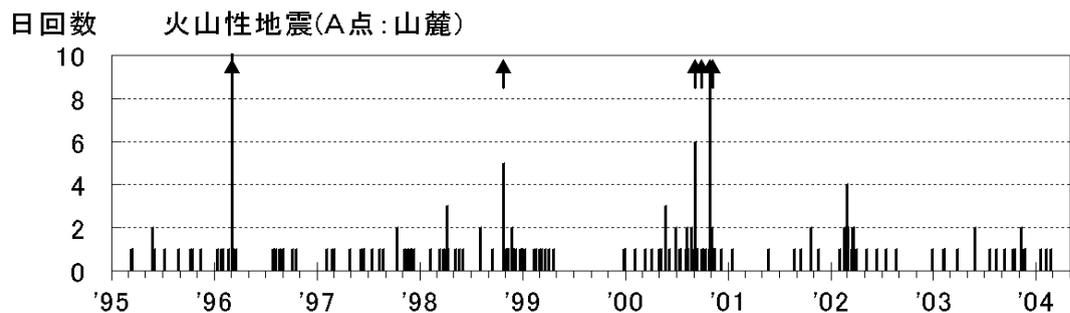
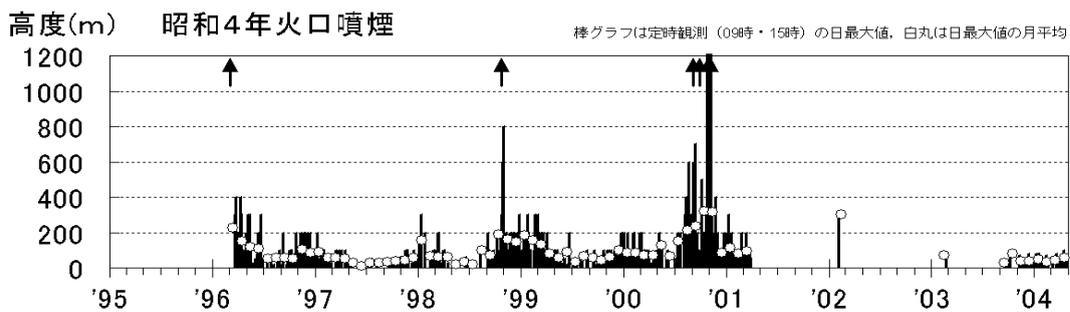
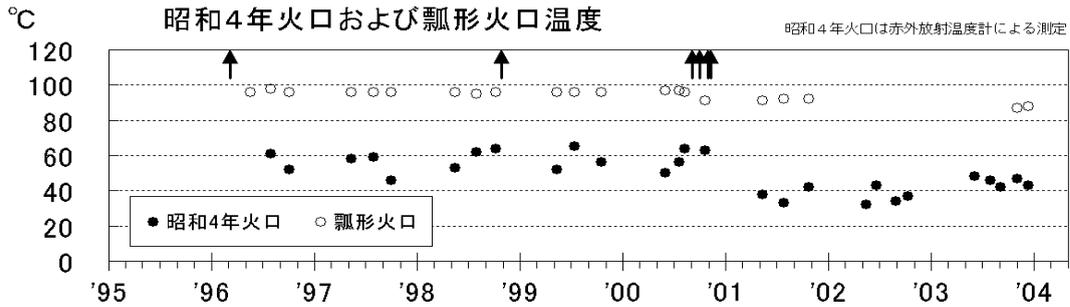
# 北海道駒ヶ岳

## 1 概況

火山活動に特別な変化はなく、静穏な状態が続いています。

地殻変動はわずかながら山体膨張の傾向が続いています。昭和4年火口などではこれまでと同様弱い噴気が見られています。火山性地震は少ない状態が続いています。

北海道駒ヶ岳では1996年から2000年までの間に6回の小噴火が発生しており、噴火発生の数年前に小噴火を繰り返した1929年大噴火や1942年中噴火の前の状況と類似しています。



最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2004年4月30日) 印は噴火

2 地震の発生状況

今期間、A点で観測された火山性地震はありませんでした。地震活動は静穏な状態が続いています。火山性微動は2001年1月以降観測されていません。

地震・微動の月回数 (A点)

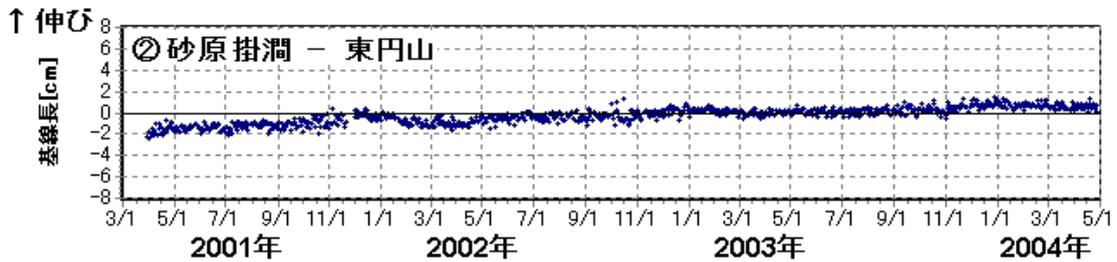
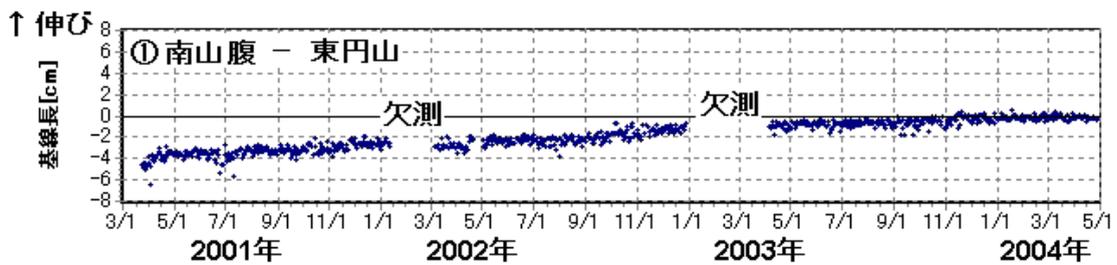
2003~2004年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地震回数	2	0	1	1	1	2	4	0	1	2	0	0
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 噴煙の状況

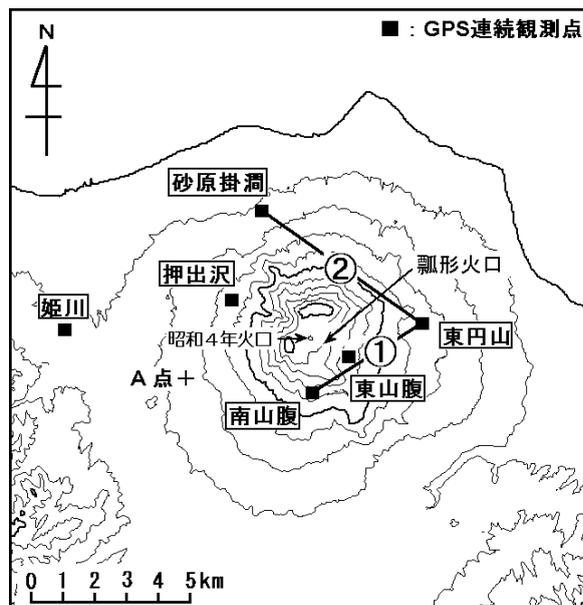
今期間も昭和4年火口および96年南火口列から弱い噴気が時々観測されました。噴気の高さは火口縁上おおむね50m前後で推移しました。

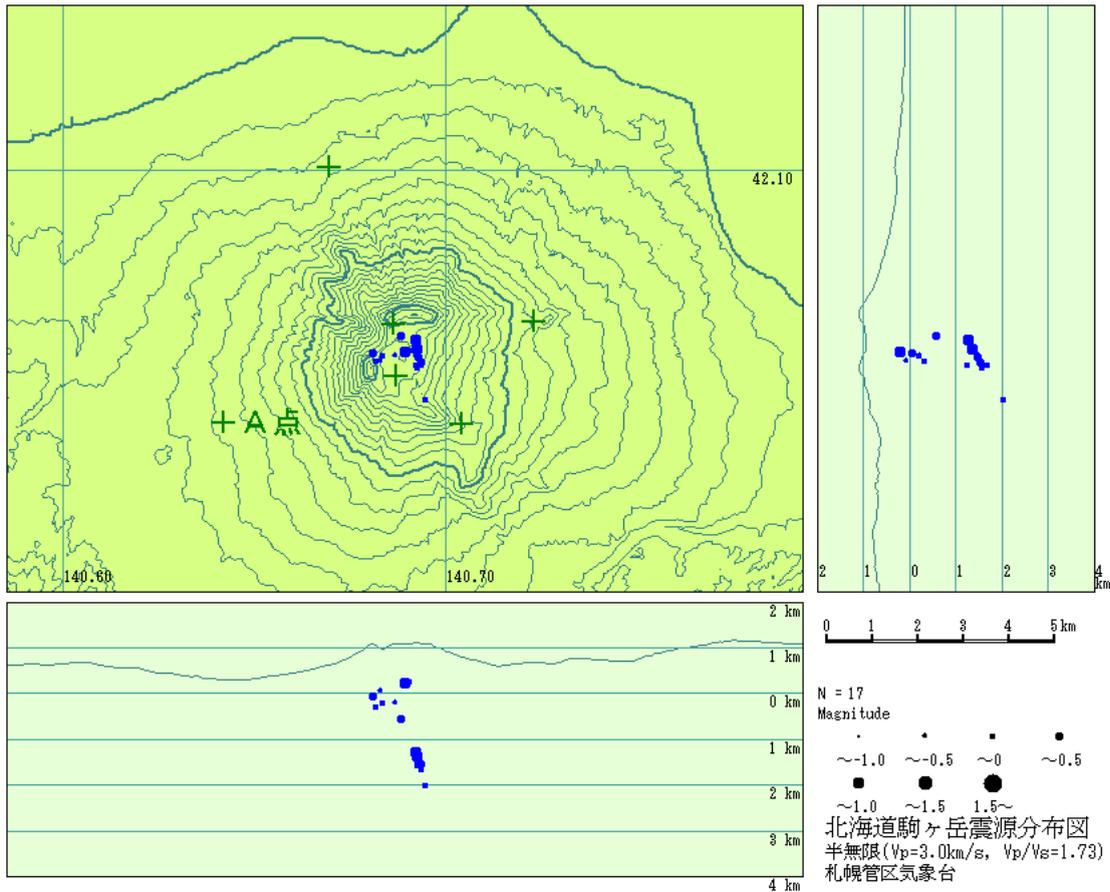
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、引き続きわずかな山体膨張を示す基線長の伸びが認められています。



基線長変化 (2001年3月23日~2004年4月30日)





北海道駒ヶ岳の震源分布図(丸印：震源、+印：地震観測点)

今期間(2004年4月1日~4月30日)に震源が求まった地震はありませんでした。

青丸は前期間までの1年間(2003年4月1日~2004年3月31日)に求まった震源を示しています。

過去の震源分布は大きく分けて山頂火口原直下の海拔付近と海拔下1~2kmに集中しています。このほか、山麓のやや深いところ(5~10km)を震源とする地震も時折発生していますが、十分な精度が得られないためこの図には表示していません。